学校番号	３０５

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎「気づく力　築く未来」（実教出版）						
副教材等	生活学 Navi（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう

・生活の様々な現象や課題について演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。

・実践的・体験的な学習を通して、生活に必要な確かな技術を身に付けます。

・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣生活、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	青年期の課題	○家庭科の学び方 ・ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ○人の一生と発達課題 ・自分らしさについて ・生涯発達の視点 ＊価値観オークション ○青年期の課題と自立 ＊自立に向けて ○主体的に生きるための意思決定 ・ライフコースについて ・ライフスタイルについて	b:青年期にある自分を見つめ、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 a:事例研究などを通して、青年期の生き方について検討する技術を身に付けている。青年期の課題について理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。 c:青年期の生き方について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表
	家族・家庭と社会について	○現代の家族・家庭 ・家族とは何か ＊家族構成の推移の背景 ・家族間の問題 ＊DVについて考える ・家事労働と職業労働 ○家族・家庭に関する法律 ＊家族法クイズ ○家族・家庭と社会 ・男女共同参画社会 ・ワークライフバランス ＊男女の働き方と賃金格差について	a:生涯発達の視点から、家族・家庭の意義、社会との関わりなどについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。 b:生涯発達の視点から家族・家庭と社会との関わりについての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:家族・家庭の意義や役割、男女の平等と相互の協力などについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表
	保育について	＊巾着袋製作 ○子どもの誕生 ・妊娠から出産まで ＊妊婦体験をしてみよう ○子どもの成長・発達 ・体の成長・発達 ・心の成長・発達 ＊新生児人形を抱いてみよう ＊親ならどうする ○子どもの生活と保育 ・子どもと遊び ・子どもの健康・安全 ＊家の中の危険を見つける ○子育てと子どもが育つ環境 ・現代の子育てをめぐる問題	a:子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 製作物	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 製作物	授業観察 ワークシート レポート 発表 製作物

	生涯の健康を見通した食生活をつくろう	○栄養と食品 ・たんぱく質の働きと食品 ・無機質の働きと食品 ・ビタミンの働きと食品 ・調味料・嗜好品・加工食品 ＊調理実習 和食の基本	a:たんぱく質、無機質、ビタミンの働きと食品に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: たんぱく質、無機質、ビタミンの働きや食品その調理性をふまえて課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。	ワークシート 定期考査 製作物	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 製作物	授業観察 ワークシート レポート 発表 製作物
	被服実習	＊エプロン製作実習	a：被服の製作について、基本的な技能を身につけ、正確でていねいな技術を身につけている b：被服の製作について効率的に製作する工夫をし、オリジナリティを表現している c：被服の構成や製作について関心を持ち、意欲的に実習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 製作物	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 製作物	授業観察 ワークシート レポート 発表 製作物
		○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊自由テーマ 調査研究、個人発表	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表
2学期	生涯の健康を見通した食生活をつくろう	○安全で環境に配慮した食生活 ・食品の選択 ・食品の保存と衛生 ・環境に配慮した食生活	a:安全・安心な食のために、また環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を身に付けている。食品の選択や保存と衛生について、また環境への配慮などについて科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b:食品添加物や食中毒、食料自給率について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:食品の選択や保存と衛生について、また環境への配慮に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表

	高齢期について	○高齢期という時期 ・現代の高齢者を知る ・高齢期に生じる生活の変化と課題 ○高齢期の生活を支える高齢者福祉 ・高齢者福祉のおもな制度やサービス ・介護保険制度 ○高齢社会の現状と課題 ・人口の高齢化がもたらす課題	a:高齢者の生活について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。 b:高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:高齢者の生活について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表
	生涯の健康を見通した食生活をつくろう	○栄養と食品 ・たんぱく質の働きと食品 ・無機質の働きと食品 ・ビタミンの働きと食品 ・調味料・嗜好品・加工食品 ＊調理実習 和食の基本	a:たんぱく質、無機質、ビタミンの働きと食品に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: たんぱく質、無機質、ビタミンの働きや食品その調理性をふまえて課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。	ワークシート 定期考査 製作物	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 製作物	授業観察 ワークシート レポート 発表 製作物
	生涯の健康を見通した食生活をつくろう	○健康につながる食事計画 ・ライフステージの 食生活の特徴 ・食事摂取基準と食品の量 ・家族の食事と献立 ＊調理実習 洋食の基本	a:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 ライフステージにおける食生活の特徴を考慮しながら、食品群別摂取量のめやすについて科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b:家族の食事と献立について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:ライフステージの食生活の特徴を考えた食生活、食事摂取基準に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 製作物	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 製作物	授業観察 ワークシート レポート 発表 製作物

	安全で快適な住生活をつくろう	○住生活の成り立ちと住空間の計画 ・なぜ住まうのか ・住生活の成り立ちと住文化 ・あなたの家族の生活に合った住空間の計画	a:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理し、計画する技術を身に付けている。 住居の機能などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b:住居と家族の生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:住居と住文化に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表
3学期	安全で快適な住生活をつくろう	○健康で安全な住生活 ・健康で快適な住まいと住まいかた ・安全に配慮した住まいと住まいかた ○よりよい住環境の実現をめざして ・わが国の住生活の現状と課題 ・環境保全につながる住まいの維持・管理 ・持続可能な住環境と地域社会	a:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 健康で安全な住居、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b:安全で環境に配慮した住生活について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:住居と住環境、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表
	持続可能な社会をめざして行動しよう	○環境と調和のとれた生活 ・私たちの生活が環境問題解決の鍵に ・エコライフを実践しよう ○持続可能な社会の実現をめざして ・グリーンコンシューマーをめざす ・環境保全活動 ・持続可能な社会を築こう ＊調理実習 エコクッキング	a:エコライフを実践するために環境に配慮した食生活を営むために必要な技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。 環境問題や持続可能な社会などについて科学的に理解し、グリーンコンシューマーとして生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。 b:環境問題や持続可能な社会の実現について課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 c:環境問題や持続可能な社会の実現に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表

	消費者生活について	○現代の消費生活 ・変化する消費生活 ・キャッシュレス社会のメリット・デメリット ・クレジットカードについて	a:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表
	消費者問題・経済生活	○消費者問題の現状と課題 ・契約とは何か ・多様化する消費者問題 ＊シミュレーションで問題解決を考える ○消費者の権利と責任 ・消費者の権利と社会を変える力 ・よりよい生活をめざす意思決定と消費行動 ○家庭の経済生活 ・家計の現状と経済のしくみとのかかわり ・ライフステージと経済計画 ＊マネープランのシミュレーションゲーム	a:現在及び将来の消費生活と経済の計画・管理、生活設計のために必要な知識を身に付けている。 b:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について、考え、工夫している。 c:消費生活と生涯を見通した経済の計画・管理、生活設計について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査	授業観察 ワークシート レポート 発表

※　表中の観点について　a:知識・理解　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。